

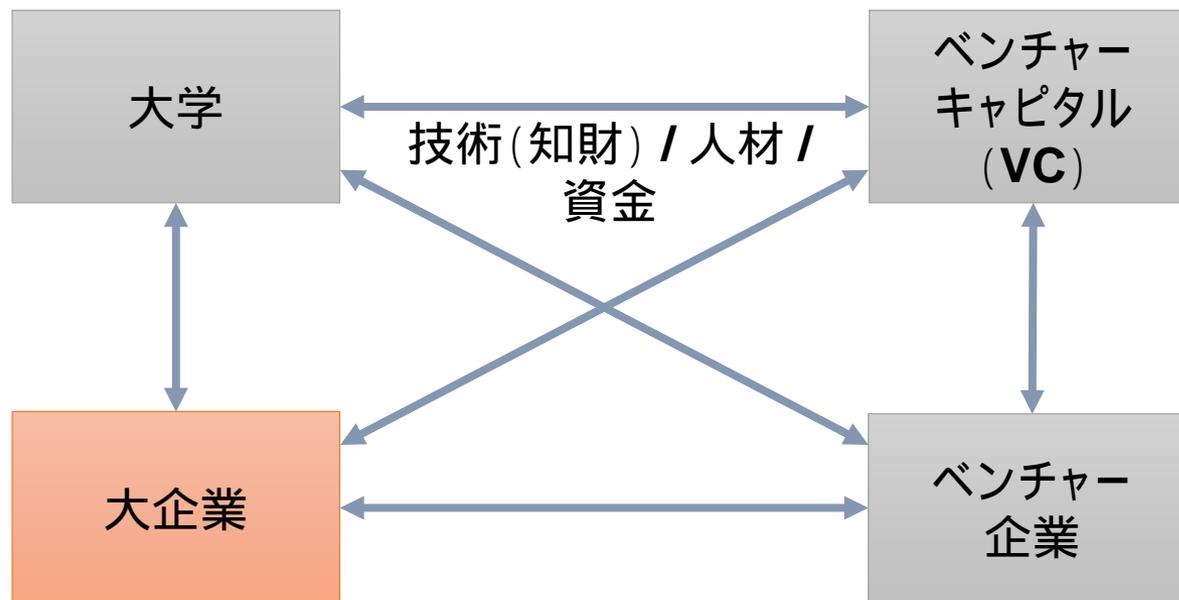
ベンチャー企業育成に向けた 経団連の取り組み

2015年10月30日

一般社団法人 日本経済団体連合会
産業技術本部 上席主幹 吉村 隆

ベンチャー・エコシステムの重要性

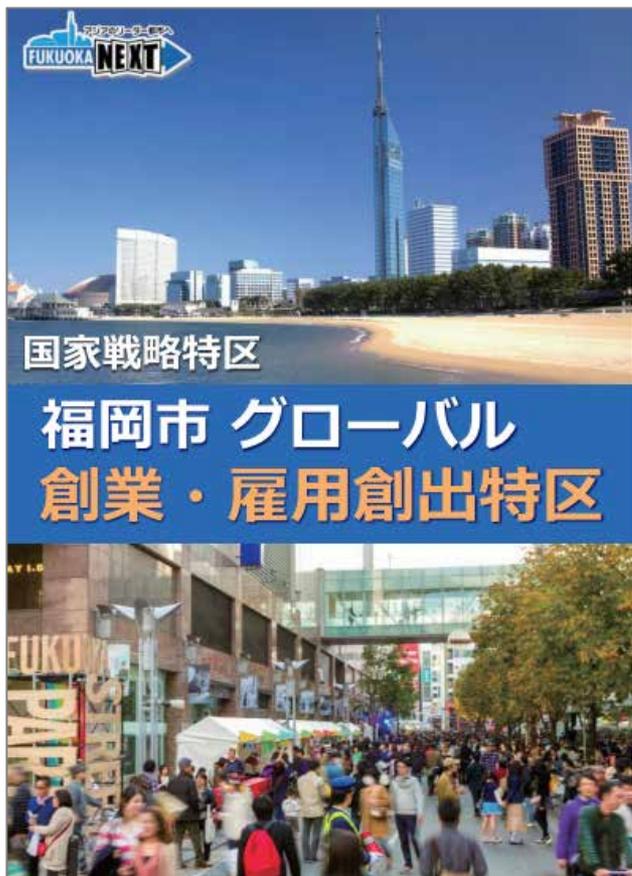
日本再興には「ベンチャー企業の創出・育成」が不可欠。
その実現には、ベンチャー・大企業・大学・VC間で
技術/人材/資金が循環する「エコシステム」が必要



▶ 人材，金融機関等の支援要素が不足する「**地方**」では，
既存企業の関与が特に重要

地方でのベンチャー・エコシステム

地方が「主役」となり、ベンチャー企業創出を促進するエコシステムの形成を押し進めている



例:福岡市 高島宗一郎市長
「日本を起業・創業大国へ」

- n スタートアップカフェ
 - l ベンチャー企業とその支援者の交流プラットフォーム
- n スタートアップビザ(外国人受入緩和)
- n 政策提言
 - l スタートアップ法人減税(提案中) 等

経団連の取り組み

地方都市と協力し、ベンチャー・大企業の連携を加速すべく、
「スタートアップ都市推進協議会」との共同声明を発表

- n スタートアップ都市推進協議会 との共同声明(5月19日公表)
 - l 地方新興企業等と大企業とのマッチングイベント等の共同開催
(11月12日にイベント「ジャパン・スタートアップ・セレクション」を開催予定)
 - l 起業家人材の育成・地方資源の活用によるイノベーションに
向けた産学官連携の促進
 - l 制度改革の推進、政府関係機関への働きかけ

福岡市, 広島県, 横須賀市, 三重県, 千葉市, 浜松市, 奈良市の協議会

本年5月19日、福岡市にて、
高島宗一郎市長(スタートアップ都市推進協議会 会長)、
経団連 荻田伍 副会長(起業・中堅企業活性化委員長)が会談。共同声明を発表



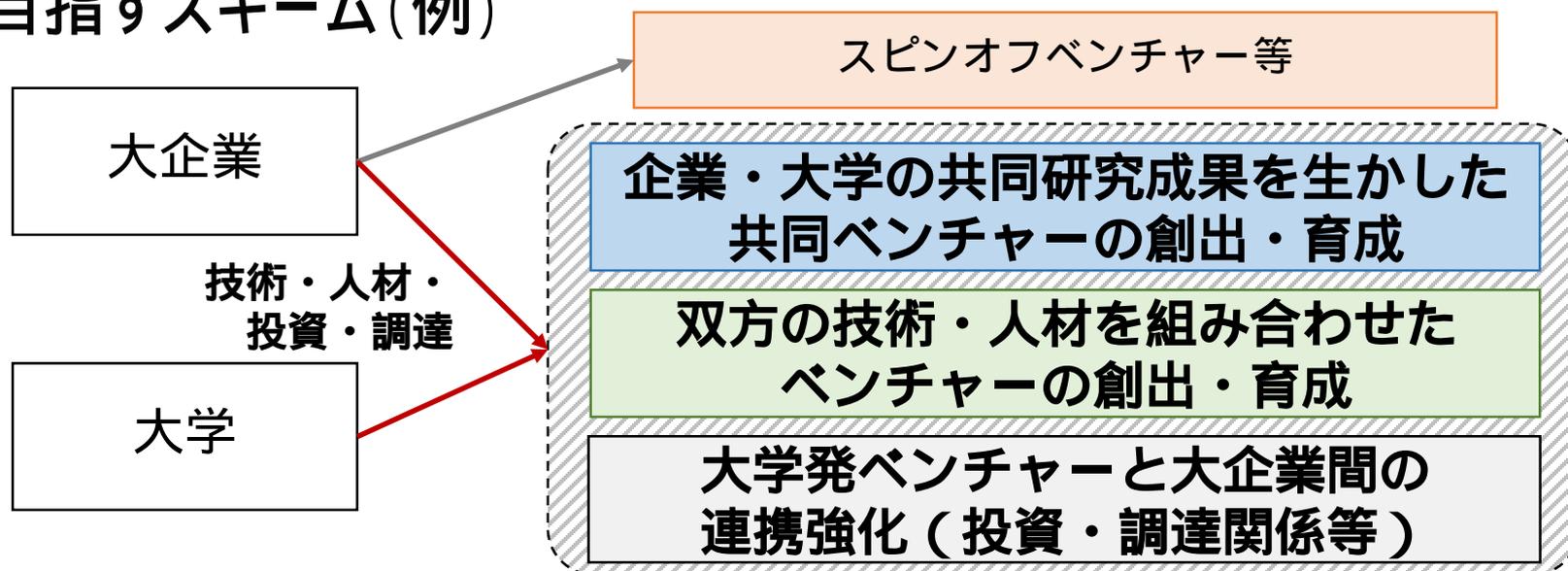
(参考) 大学発ベンチャーに関する取り組み

東京大学と、ベンチャー・エコシステム構築に向けた議論を開始

n 東大・経団連 ベンチャー育成会議(11月発足予定)

- l 現在、東京大学発ベンチャーが計224社・時価総額1兆円超に達したが、ベンチャー創出における米国トップ大学と比較すると、その数は1/10
- l 米国との違いは「エコシステム」であり、この構築が急務との課題を共有

n 目指すスキーム(例)



今後の展開

- n 福岡市をはじめとする「スタートアップ都市推進協議会」と連携し、共同イベント等の具体的なアクションを加速
- n 新たな基幹産業の育成、地方創生に資する「日本型 ベンチャー・エコシステム」構築に向け、地方・大学等の有力な構成要素と共に議論
- n 中小企業政策と同一視されてきたベンチャー支援の政策について、科学技術イノベーション政策との有機的な連携に期待